



# 学校だより

令和3年度 第11号  
発行日 3月17日  
練馬区立大泉第二中学校  
校長 関 基 雄

## 震災11年目に思う

校長 関 基 雄

先日東日本大震災がおきて11年が経ち、学校でも黙とうを行いました。今までは今年もこの日 came という感覚でしたが、11年という歳月はだんだんと過去の出来事のように思えるようになってきました。今年入学した1年生は2～3歳のときの出来事です。しかし、「過去の出来事」にせずその日どんなことがあったのか、震災を経験した人がそれぞれ語り継ぎ、教訓として生かしていくことが大切ではないかと思ひ、その日の経験をまとめてみました。

今から11年前の3月11日。その頃はまだ卒業遠足を行っていた時で私は副校長としてディズニーランドへ引率をしていました。突然地鳴りとともに建物がものすごい音を立て揺れだしました。ついに関東大震災の再来と思いました。園内でばらばらになっている生徒、職員を確認しようと駐車場に向かうと第2波が襲ってきて地面が波打つのがわかりました。何本もの黒煙が上がりヘリコプターが何機も旋回していました。脳裏によぎったのはビルが倒壊し高速道路が倒れている阪神淡路大震災の光景です。実際に大きな災害が起こることなどは微塵も考えていなかったため、その場で考えながらの対応となりました。唯一私が持っていた学年の名簿があったおかげで、生徒の安否が確認できました。日が暮れ始めるころ学校に戻る決断をして出発しました。バスが駐車場を出るとき液状化した駐車場は街灯が傾き、車もタイヤが半分砂に埋まっていたのを覚えています。しかし、街は思ったよりも損壊していませんでした。5時過ぎたころだろうか大勢の人が出て都心から郊外へ向かう道路は全く動かない状態でした。たまたま逆の行程だったことで、夜の9時ごろに何とか学校に到着することができました。出発してから4、5時間経っていましたが緊張しているせいか誰一人トイレに行くとか気持ちが悪くなるという生徒はいませんでした。多くの保護者が迎えに来ており、そのまま解散となりました。そのあと学校は避難をしてきた人の避難所になり、学校の職員だけで対応をしていきました。計画停電も経験しました。街中の電気が一斉に止まり、信号機も動きません。頻繁に鳴る緊急地震速報いつ余震が来るのか緊張の毎日でした。

この時を境に防災の意識が大きく変わっていきました。大きな災害が起こるとそれに伴い教育の在り方も大きく変わっていきます。今は新型コロナウイルスというこれまで経験したことのない感染症の世界的な流行に見舞われ、様々な対応を行っています。教育の場ではオンラインの普及が一気に進み、新しい指導方法が展開されるようになってきました。

昨日も練馬区でも停電になるほどの大きな地震が東北地方で起こりました。この機会に各ご家庭でも災害についての対策を検討して見ていただきたいと思います。

## 令和3年度 学校評価アンケートの集計結果

「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた肯定的な回答のパーセントです。

アンケート項目 (①～⑳は生徒も同様の内容の項目です)	生徒	保護者	教員
① 授業はその時間のねらいが明確で、何を学ぶのかがわかりやすくなっている	86.5	58.8	93.5
② 生徒の関心・意欲を生かした自主的・自発的な学習の工夫がなされている	85.5	63.3	96.8
③ 授業では生徒が意見や考えを表現する活動がなされている	90.5	65.6	93.6
④ ICT 機器（プロジェクターやタブレットPC 等）が効果的に活用されている	86.3	71.8	87.1
⑤ どの授業も工夫されてわかりやすくなっている	80.5	49.4	96.8
⑥ 授業でわからないことなどの対応や個に応じた教育を行っている	73.9	45.7	87.1
⑦ 英語に関心がもてるように英語学習に力を入れている	83.1	55.8	77.4
⑧ 生徒の学習の成果をわかりやすく伝え評価を適切に行っている	81.9	71.1	96.8
⑨ 道徳の時間の充実を図り、心の教育に努めている	88.7	63.3	90.3
⑩ いじめなどの問題に対応し、お互いの命や人権を大切にする教育を行っている	65.4	64.8	100
⑪ キャリアパスポートなどを活用し、適切な進路学習を行っている	78.1	53.2	87.1
⑫ 挨拶や学校の決まりを守ることなど、生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせている	91.8	88.0	100
⑬ 生徒が行事や部活動を楽しみにし、積極的に参加できるように取り組んでいる	89.2	86.9	100
⑭ 生徒に対して公平・適切に接し、子供の相談に応じている	69.5	68.2	100
⑮ 感染症対策などを行い、生徒・保護者等の健康・安全に努めている	89.1	91.0	100
⑯ 校内の環境美化・施設改善を積極的に進めている	86.2	77.5	100
⑰ オンラインによる保護者会・説明会などは今後も推進したほうが良い	63.0	76.8	100
⑱ 生徒は「eライブラリー」を活用し、家庭で学習に取り組んでいる	60.4	61.4	80.7
⑲ 大南小、大二小との小中一貫教育に努めている		45.0	90.3
⑳ 積極的に家庭と連絡をとり、きめ細かく意思疎通を図っている		59.9	100
㉑ 学校・学年だよりやホームページ、学校連絡メールを通して家庭や地域に積極的に情報を発信している		83.6	100
㉒ 保護者や地域の方々と交流し、開かれた学校にするよう努めている		59.5	93.6
㉓ コロナ禍の中でも充実した教育活動を行おうと努めている		88.7	100
㉔ 教職員はより良い学校にするために意欲的に教育活動に取り組んでいる		75.7	100
㉕ 学校の雰囲気が明るく、生徒に活気があり、生徒は成就感や達成感を味わって過ごしている		75.7	100

### 生徒のみのアンケート項目

(19) 昨年に比べて家庭学習の時間は増えていますか。	76.9
(20) あなたは自分には、良いところがあると思いますか。	63.2
(21) あなたは将来の夢や目標をもっていますか。	64.9
(22) あなたは家の手伝いや地域の役に立つことをしていますか。	65.7
(23) あなたは学校が好きですか。	72.8

※アンケートの詳しい集計結果は、ホームページに掲載していきます。

## 令和3年度 学校評価アンケートの分析

今年度はアンケートを紙用紙での回答からWeb回答に変更しました。ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。アンケートの結果やいただいたご意見を次年度の学校運営にいかしていきたいと考えています。記述でいただいたご意見にたいする学校としての考えは次頁に掲載させていただきました。以下は特徴のあったアンケート項目の分析です。

学習に係る①～⑧の項目では、生徒の回答は教員と同様の肯定率であったが、保護者は「わからない」という回答が約25%あり、その分肯定率が低くなっていました。学習の様子が伝わるように努めていきます。

④「ICT 機器の活用」については、生徒・保護者共に肯定率が高い。今後もいっそう効果的な活用ができるようにしていきます。

⑥「個に応じた教育」については、保護者の肯定率が50%未満で、生徒の肯定率も他の項目より低い。個に応じた指導方法の工夫を図っていきたくて考えています。

⑦「英語学習」については、生徒の肯定率は80%以上だが、保護者の肯定率は56%と低かった。学習の様子が伝わっていないのか、不十分な点があるのか検討をしていきます。

生徒の生活や心身に関わる⑨～⑫の項目では、教員の肯定率はほぼ100%であったが、生徒と保護者は肯定率が80%程度であった。認識の違いを意識して指導を進めていきます。

⑩「いじめ」については「わからない」という回答が、生徒は24%、保護者は29%ありました。いじめの定義や学校の取り組みを丁寧に説明し、いじめの防止・早期発見などに努めていきます。

⑬「行事や部活動」については、コロナ渦で中止や縮小することもありましたが、生徒・保護者共に肯定率が高い。今後も感染予防に気を付け工夫して活動を進めていきます。

⑭「相談」については、生徒・保護者共に否定的な回答が十数%あり、わからないも20%近かった。教員との認識の違いがあり、一人一人への対応を気を付けていきます。"

⑮タブレットで活用する学習ソフト「eライブラリー」については、生徒・保護者共に肯定率は60%程度で十分には活用しきれていない状況です。家庭学習に活用ができるように指導していきます。

⑯「小中一貫教育」については、小中合同の研究授業実施や中学校教員の小学校への乗り入れ授業など区内でもよく取り組んでいるほうであるが、保護者から「わからない」という回答が45%あり認知度が低いことが分かった。ホームページなどで取り組みを伝えるようにしていきます。

生徒のみのアンケート項目では

(19)「家庭学習」については、77%の生徒が昨年と比べて時間は増えたと回答しています。eライブラリーの活用を含めて家庭学習が充実するように支援していきます。

(20)「自分の良いところ」(21)「将来の夢」については、肯定率が65%以下で自己肯定感を十分にもっていない生徒が多いことが伺えます。道徳の授業や特別活動の様々な活動などを通して、自分のよさに気づき、将来を前向きに考えられるように指導していきたくて考えています。

○先生の対応について

Q 授業中、部活動中に、マスクをしていない又はコーラスマスクの様なものをしているだけの先生がいるようですので、気を緩めず感染対策をして頂きます様お願いいたします。

A 社会的にも不織布のマスクが推奨されていることから、現在は生徒にも不織布のマスクを推奨しており、教員も全員不織布のマスクを着用しています。

Q 教員の対応について、差別的な発言や言葉づかいや態度について気になることがある。

A 教師の対応について何件かご意見をいただきました。校内でわかったことや保護者の方からご指摘をいただいたことなどは当事者から聞き取りを行い、事実確認をした上で説明したり対処をしたりしてきました。体罰調査も行ってはいますが、これまで体罰ということは出ていません。しかし、不適切な言動ということで指摘されることがあります。その都度管理職から注意・指導をしてきています。また、日頃からも発言や言葉づかいについての注意を行っています。これからも発言等についての注意を行っていきます。

○取り組み方や設備等について

Q 生徒の欠席連絡の際に、近隣小学校でも活用されている Google フォームでの選択肢があるととてもありがたいです。

A 電話による出欠確認ではつながりにくいなどご迷惑をおかけしております。学校独自で回線を増やすことができず、連絡用の携帯電話によるメールも費用の関係で禁止されています。グーグルフォームなども検討していますが、生徒本人からの連絡か保護者の方からの連絡なのか区別がつかないのではないかと懸念があり、現在どのようにしたらよいか検討をしているところです。

Q ダンス発表会は男子の参観日も設けてほしかったです。

A カリキュラムの関係で実施できませんでした。次年度はこうしたご意見も踏まえた上で検討をしていきます。

Q 体育館にエアコン入れて欲しい。

A 第1体育館には昨年エアコンが入りましたが、第2体育館には設置できていません。電源工事などが必要であり学校予算では設置をすることができないことをご了承ください。

Q 登校時間に関し、遅刻扱いになる5分前に登校してない者へ雑巾掛けという罰を与えることは納得いかない。

A この取り組みをしている3年生は1、2年生に比べ登校時間が早くなり、ぎりぎりで登校する生徒はごくわずかで、入試に向けて時間に余裕をもって行動するというところに役に立っているといえます。代表委員が取り組んでいる活動ですので見守っていきたくて考えていますが、遅れてくる生徒が固定化され、改善が見られない場合などには方法を変える必要もあると考えています。

Q いじめ問題等の対応は、とても難しく時間のかかることかと思えます。

A いじめの疑いがある事例について教員で手分けをして聞き取りを行い、事実を確認した上で保護者の方にも連絡をして指導を行っています。学校でも年3回のいじめ調査を行っていますが、調査からはっきりといじめと認められるものはほとんど見られません。しかし、「アンケート10」では否定的な意見も見られます。今後状況をより注意して見ていきたいと思えます。気になることがありましたらご連絡をお願いします。

Q 保護者の声をよく聞いてくださると思えます。ありがとうございます。まだ1回も体育祭を見られてないので、来年こそは、学年ごとでいいので観覧したいです。

A 区の示す感染対策に則りながらできるかぎり公開できるよう努めてまいります。

Q 標準服について、時代的に女子もスラックスを選べると良いと思います。Vネックセーターは良いのに、なぜカーディガンはダメなのですか？ 白い靴下は汚れが目立つので、紺のソックスの方がいいと思います。

A 女子用のスラックスも販売されるようになりました。業者へご連絡をお願いします。だらしなく見える着方にならないようにセーターについてもすそがあまり上着からでないようなものにするなどの指導をしています。どうしてもセーターに比べカーディガンの方がルーズな着方になってしまうためVネックセーターとしています。

Q ペットボトルがダメな理由は何ですか？

A 夏の暑い際は熱中症対策としてペットボトルの持ち込みを認めています。現在は感染防止のため冷水気の使用を中止していることから水筒だけで足りない場合はペットボトルの持ち込みも認めています。しかし、環境への配慮などからあくまでも水筒の持参での対応をお願いします。それを補完するためのペットボトルの持ち込みについては不可とはしていません。

Q 感染予防対策で、近隣の学校は制服か体操着登校の選択が許可されているが、本校はその選択がないのが疑問である。

A これまで要望もなく、感染予防で体操着登校が効果的であるという認識がありませんでした。今のところは現状通りで進めていこうと考えています。

Q おしゃべりウィークの取り組みが良かった。

A 授業時数の関係がありますができるだけ継続していけるように取り組んでいます。

Q 学区外登校のため交通機関を利用しているが、ジャージのネームが漢字なのでジャージ下校の時、個人の苗字を晒しているようで気になる。せめてローマ字の刺繍にして欲しい。

A 今後検討していきます。

Q ホームページで学校活動の予定を1年分見られるようにしてほしい。

A ホームページの「行事予定」に年間の予定を掲載しておりますのでこちらでご確認をお願いいたします。

Q 体育祭・合唱コンクールの時期の変更についての経緯説明が、あったのかわからなかった。

A 学校だよりやPTAのおたよりなどではご連絡しておりましたが、コロナ禍のためみなさんにお集まりいただきそこで周知していくという点で配慮が不足していました。

Q 保護者会を動画配信にして欲しいです。聞き逃したことや、もう一度聞きたいことがあります。配信後、ア

アンケートを行って質疑し、後日 HP に回答を掲示すれば、参加できなかった保護者も平等に情報を得られると思います。

A オンラインの活用が急速に進んでいます。対面で行う場合、オンラインで行う場合など今後検討をしていきたいと思います。

Q セっかく保護者会をするのだから、プリントに書いてないことを話して欲しいです。プリントにぎっと書いて、保護者会でさらに要点だけ1を読み上げるなら、集まって話を聞く意味がありません。特にスキー教室の説明会で強く感じました。

A 今後より分かり易い説明となるよう工夫をしていきます。

Q 3年生は、スキー教室、職場体験、合唱コンクール、体育祭縮小、と、中止が多く活躍できる場が少なかったもので、思いで作りを増やしてほしいと申しております。(球技大会3年生は日数や競技を増やすなど)

A 何かできるか学年でも検討をしてみます。

○授業や評価について

Q 通知表の成績の付け方については、疑問に思う事もある。本当に先生の生徒に対する好き嫌いなどなく、正當に成績がつけられているのか、疑問に思う。学校では基準を決めて公平な評価となるように取り組んでいます。ご不明な点についてはご連絡をください。また、どうしてこの成績になったのかを明確にしてくれると良いと思います。

A 通知表を配付した際に質問時間を設け、質問しに来た生徒にはそれぞれの教科担任が個別に説明をしていますので積極的にご活用をお願いします。

Q 先生の対応に温度差がありすぎるように感じる。管理職の先生はコロナに対する生徒の学力の補償をどう考えているのか全くわからない。仕方なく家庭学習を行わせようとしても、学校のホームページを見ても授業の予定や計画が書いてないので、全く対応できない。もう少し生徒のことを考えてもらわないと今後の学習の影響が心配である。冬休みや春休みに補習とかを考えないのか？回答をきちんといただきたい。

A 授業時数については以前お知らせしましたように行事の準備時間が授業に変わったことと月曜日の6校時に授業を入れたことで時間的な措置は行っています。また、授業進度についても特段遅れているという報告は出ていません。本年度タブレットに導入した学習ソフト「eライブラリ」を是非ご活用くださいますようお願いをいたします。

Q 授業の進め方が科目によってばらつきがあるようです。教科によっては一方的に先生が話してノートをプロジェクターに映すだけ、ということで、双方向の授業にはなっていない印象です。教科によっては説明がわかりづらいので 改善してほしいです。

A 今後校内で研修を積んでまいりたいと思います。

○意見、感想

- ・いつも子供がお世話になり、ありがとうございます。
- ・ホームページを活用し、学校での様子がよくわかり安心できます。遠方の祖父母も楽しく拝見しています。
- ・現時点では教育活動に関するメッセージが少ないと感じており、子供に話を聞くにも限界がありほとんどの項目で「わからない」と回答しました。
- ・うちの子は、まじめに、楽しそうに、過ごしているようなので、先生方がちゃんと色々やってくれているのわかります。

学校や先生方の悪いことは全く言わないので。ただ、アンケートの中に、良い学校にする為に教員たちが…と言っていることがすごく気になりました。外観をよく見せたいだけですか？親も先生も子供に恥じない行動を取れば自然に子供たちも同じ行動を取ると思いますよ。

- ・クラスでの委員会や係活動については、正直偏りがあり、全く関わっていない生徒と多く関わっている生徒との負荷に差がありすぎると感じています。
- ・3年間、校長先生をはじめ先生方の温かい雰囲気为学校生活を送れたことにとっても感謝しております。ありがとうございます。
- ・コロナの影響もあり、不透明なところが多いです。部活熱心にしており、塾もあり忙しくして中々本人から話を伺えないので、出来るだけ学校からもっと状況発信していただけるとありがたいです。
- ・いつもありがとうございます
- ・わからないと答えたのは、広報されていないように感じる部分です。子供からよく出る話題ではない項目は、学校でどうなのか全く保護者からは見えないので、わかりません。どこを見ればわかるか、そういうところも広報してください。
- ・校長先生をはじめとして先生たちのおおらかな対応のおかげで本人が不安や失敗に負けずに前向きにチャレンジする姿が増えました。これからもどうぞよろしくお願いします。
- ・定期試験と修学旅行準備がやや重なったことで仕方ないかもしれないが、保護者への伝達が不十分すぎる。
- ・今後も子どもの声に耳を傾けながら、先生と子どもたちと一緒に、より良い学校生活を作り上げていただけたらと思います。引き続き宜しくお願い致します。
- ・クラスでトラブルがあった際に中立な立場で対応して頂けて感動した。例えば泣いてる子と泣いてない子がいたら大抵泣いてない子だけが悪者になるが泣いてない子の心に寄り添い真実を見極めようと動く先生に逢えた事が嬉しかった。
- ・宿題が少な過ぎる気がします
- ・コロナで活動も制限されており、なかなか適切な評価が難しいと思います。

## ○卒業式について

令和3年度第65回卒業式を3月18日（金）に挙行いたします。練馬区教育委員会の方針として、今年度の卒業式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために儀礼等を簡略化して時間を短縮します。参列は、卒業生、在校生代表、教職員、卒業生の保護者（各家庭1名）のみとなります。1・2年生は教室でWebでの参加となります。本来であれば、地域・ご来賓の皆様に参加していただき、卒業生の門出をお祝いしていただきたいのですが、残念ながら参列をご遠慮していただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。

## ○特別授業

卒業・進級を目前にして、ゲストティーチャーによる特別授業が行われています。

### ・3年生 特別講演会（侍ジャパン清水雅治コーチ）

3月14日（月）、元プロ野球選手（中日・西武）そして現在は日本代表侍ジャパンのコーチをされている経験を基に、目標をもって生活することの大切さなどを、お話ししていただきました。放課後には、野球部員に直接のご指導もしていただきました。

### ・1年生 「共に生きる」講演会（郡司ななえさん）

3月15日（火）、障害をもつ方のことをよく理解するために27歳で全盲になった体験を話していただきました。「子供」となった盲導犬たちとの出会いと生活、そしてお別れについて話していただきました。人生にはいろんなことがあるが、4つの種（あきらめない・努力する・工夫する・勇気をもつ）を心にもって生きていくようにと励ましていただきました。

### ・2年生 職業講話

3月22日（火）に以下の5人の講師の方々から、働くことの意義・仕事の大変さや勤労の尊さ・働くことの生きがいなどについてお話ししていただきます。生徒それぞれが自分の生き方や将来の進路について考えていきます。

講師 岡田 舞 さん（JTB教育第二事業部）

工藤 恭一 さん（武翔総合管理：元大二中用務チーフ）

鈴木 正弘 さん（クレトン：大二中調理員チーフ）

寺田 晶彦 さん（ジョイ建築設計事務所管理建築士）

柳 則子 さん（練馬区立大泉子ども家庭支援センター所長）

## ○年度末・年度初めの主な予定

3月18日（金）	第65回卒業式	4月6日（水）	始業式
22日（火）	1年生百人一首大会	7日（木）	入学式
”	2年生職業講話	11日（月）	朝礼、身体計測（始）
23日（水）	1年生球技大会	13日（水）	1年生保護者会
24日（木）	2年生球技大会	”	1年生部活動仮入部（始）
”	美化活動		
25日（金）	修了式		

×

○緊急連絡メールについて

本校では、修学旅行や移動教室の帰校予定時刻の連絡をはじめ、インフルエンザによる学級・学年閉鎖ならびに新型コロナウイルスに関する連絡やPTAからの連絡など緊急かつ重要な連絡は、学校ホームページならびに学校連絡メールにてお知らせをしております。そのため、全てのご家庭で学校連絡メールの登録を行ってくださいますようお願いをしております。情報の登録に関しては、令和3年度にすでに登録済の方はシステム上で引継ぎを行うため、現1・2年生は手続きの必要はありません。令和3年度末現在、情報の登録がお済みでない方、登録した情報の変更が必要な方で、「練馬区学校連絡メール登録手順書」がご入用の方、担任または副校長までご連絡ください。